

令和4年度原子力規制委員会臨時会議

第34回会議議事要旨

令和4年8月31日（水）

原子力規制委員会

令和4年度 原子力規制委員会臨時会議 第34回会議

令和4年8月31日

16:00～18:20

原子力規制委員会庁舎内

議事次第

議題1：東京電力ホールディングス株式会社柏崎刈羽原子力発電所に対する追加検査の状況

議題2：核物質防護分野の原子力規制検査の実施状況

出席者 原子力規制委員会

更田委員長、田中委員、山中委員、伴委員、石渡委員

原子力規制庁

片山長官、金子次長、市村原子力規制技監、古金谷緊急事態対策監、黒川総務課長、門野副チーム長（東京電力柏崎刈羽原子力発電所追加検査チーム）（議題1のみ）、中村安全規制管理官（核セキュリティ担当）（議題2のみ）他

○冒頭、更田委員長から、本日の会議の審議内容が、核物質防護及び検査に関する事項であって、情報公開法に定める不開示情報を取り扱うものであること及び会議資料が当該不開示情報に該当するものを含むことから、原子力規制委員会議事運営要領第7条及び第8条の規定に基づき、

- ・本日の会議を非公開で開催すること
- ・本日の資料のうち公開可能なものは原子力規制委員会のホームページで公開し、その余は非公開とすること

について諮り、出席した全委員がこれに賛成し、原子力規制委員会として、上記のとおり決定した。

○議題1について、原子力規制委員会は、資料1に基づき、東京電力ホールディングス株式会社柏崎刈羽原子力発電所に対する追加検査（フェーズⅡ）の実施状況の報告を受けた。

核物質防護に関する意識調査結果については、東京電力社員及び協力会社社員に対するアンケート結果を踏まえ、核物質防護に対する意識の変化や行動の変化等について議論するとともに、変化の傾向を把握する観点から、引き続き調査していくこととした。

不要警報の実態調査については、東京電力と他電力との比較が可能となるようデータの取り扱いに十分留意しつつ、調査を継続するよう指示した。

核物質防護設備の保守管理状況については、新たに見直しされた保全計画に基づく設備毎の保全方式や取替状況等の説明を受けた。

今後の追加検査における確認方針（案）については、東京電力の改善措置計画に対するこれまでの追加検査の状況を踏まえ、改めてフェーズⅡの追加検査で確認すべき事項について議論した。その結果、本年4月の中間とりまとめにある東京電力に対応を求める事項と評価の視点を整理し直し、東京電力の改善措置活動を評価するための確認の方針や具体化した確認内容等を追加した確認方針案として定例会において議論できるよう準備を指示した。

○議題2について、原子力規制委員会は、東京電力ホールディングス株式会社柏崎刈羽原子力発電所に対する原子力規制検査（核物質防護）において確認された事案について報告を受けた。原子力規制委員会は、資料2の別紙中の記載ぶりについて一部修正した上で、修正した資料を公開するよう原子力規制庁に指示した。

文責： 東京電力柏崎刈羽原子力発電所追加検査チーム（議題1）
核セキュリティ部門（議題2）